

講義科目 : 日本経済論 (69・68期生)	単位数 : 2
担当 : 瀬野 陸見	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

日本経済を取り巻く状況は極めて多様な要素が絡み合い、そして移り変わっていている。この講義では日本経済に関するできる限り多様な素材を取り上げ、それをどのように分析するかを学ぶことによって、日本経済の現状について他者に説明できるようになることを目的とする。また、それを通じて社会科学的思考能力を身につけ、日本経済に対する自らの考えを述べるようになることも目的である。

授業計画

- 第1回 ガイダンス：日本経済を捉える
- 第2回 日本経済の歩み1：高度成長から低成長へ
- 第3回 日本経済の歩み2：バブル経済、長期不況、日本再生への道
- 第4回 日本経済の歩み3：東日本大震災とアベノミクス
- 第5回 企業活動：グローバル化、IT化と日本の企業システムの変化
- 第6回 労働：すべての人が働きやすい社会に向けて
- 第7回 社会保障：全世代型社会保障の追求
- 第8回 財政・財政政策：政府の経済活動
- 第9回 金融・金融政策：進化する金融システム
- 第10回 貿易：貿易構造と貿易システム
- 第11回 農業：グローバル化と農政改革
- 第12回 環境：本格的な経済手段の検討の時代へ
- 第13回 企業中心社会を越えて1：労働とジェンダーの視点から
- 第14回 企業中心社会を越えて2：日本経済の課題は何か
- 第15回 まとめと展望：日本経済はどこへ向かうのか

教材・テキスト・参考文献等

【テキスト】

浅子和美、飯塚信夫、篠原総一（編）『入門・日本経済 [第6版]』有斐閣、2020年。 *必ず最新の版（第6版）を用いること

【参考文献】

大沢真理『企業中心社会を越えて』岩波現代文庫、2020年。
その他の参考文献は講義内で随時示す。

成績評価方法

毎回のリアクションペーパー10%、小テスト（計3回）30%、定期試験60%

その他

リアクションペーパーのやり取りはスマホ・PCで書き込むシステムを使用。詳細は初回の授業にて指示する。

日頃から幅広い経済現象に関心を持ち、授業へ積極的に参加すること。